

詳細は、有機溶剤中毒予防規則より記載する。

(3) 有機溶剤中毒予防規則

規制内容等		物質	第1種有機溶剤	第2種有機溶剤	第3種有機溶剤
設	屋内作業場等の内部	密閉装置	○	○ } のいずれか	
		局所排気装置	○		
		プッシュプル型換気装置	○		
		全体換気装置	×	×	
備	タンク等の内部	密閉装置	○	○ } のいずれか	○ } のいずれか
		局所排気装置	○		
		プッシュプル型換気装置	○		
		全体換気装置	×	×	
	吹付け作業の内部	密閉装置	○	○ } のいずれか	○ } のいずれか
		局所排気装置	○		
		プッシュプル型換気装置	○		
		全体換気装置	×	×	
管	作業主任者の選任	○	○	○	
	定期自主検査およびその記録	○	○	○	
	点検	○	○	○	
	補修	○	○	○	
	掲示	○	○	○	
理	区分表示	○赤	○黄	○青	
	測定、評価およびその記録	○	○		
その他	健康診断	○	○	○ [タンク等の内部に限る]	
	貯蔵	○	○	○	
	空容器の処理	○	○	○	
	計画の届出	○	○	○	
	表示(法57)	○	○	○	

●第1種有機溶剤

- 1 クロホルム 2 四塩化炭素 3 1,2-ジクロロエタン 4 1,2-ジクロロエチレン
5 1,1,2,2-テトラクロロエタン 6 トリクロロエチレン 7 二硫化炭素

●第2種有機溶剤

- 1 アセトン 2 イソブチルアルコール 3 イソプロピルアルコール
4 イソペンチルアルコール 5 エチルエーテル 6 エチレングリコールモノエチルエーテル
7 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート
8 エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル
9 エチレングリコールモノメチルエーテル 10 オルト-ジクロロベンゼン 11 キシレン
12 クレゾール 13 クロロベンゼン 14 酢酸イソブチル 15 酢酸イソプロピル
16 酢酸イソペンチル 17 酢酸エチル 18 酢酸ノルマル-ブチル 19 酢酸ノルマル-プロピル
20 酢酸ノルマル-ペンチル 21 酢酸メチル 22 シクロヘキサノール 23 シクロヘキサノン
24 1,4-ジオキサン 25 ジクロルメタン 26 N,N-ジメチルホルムアミド 27 スチレン
28 テトラクロロエチレン 29 テトラヒドロフラン 30 1,1,1-トリクロロエタン
31 トルエン 32 ノルマルヘキサン 33 1-ブタノール 34 2-ブタノール
35 メタノール 36 メチルイソブチルケトン 37 メチルエチルケトン
38 メチルシクロヘキサノール 39 メチルシクロヘキサノン 40 メチル-ノルマル-ブチルケトン

●第3種有機溶剤

- 1 ガソリン 2 コールタールナフサ 3 石油エーテル 4 石油ナフサ 5 石油ベンジン
6 テレピン油 7 ミネラルスピリット

(注) 計画の届出に関する規定については、平成6年7月1日より、本規則から労働安全衛生規則へ統合された。

(資料10)

健康診断項目の意味合い

検査分野	検査項目	意味合い
肝機能検査	1 GOT (血清グルタミンック オキサロアセチック トランスアミナーゼ)	① 種々の臓器に分布し、グルタミン酸の α -アミノ基をオキサロ酢酸へ転移する酵素 ② 心筋や肝に高濃度に存在 ③ 高値は、肝疾患、心疾患を考えるべき ④ 正常値 10~38KU、5~20IU/1
	2 GPT (血清グルタミンック ピルビックトランス アミナーゼ)	① グルタミン酸の α -アミノ基を焦性ブドウ酸へ転移する酵素 ② 肝に最も高濃度に存在、ついで腎、骨格筋に分布 ③ 肝疾患では、GOT/GPT比の診断的意義大 ④ 正常値 4~35KU、4~15IU/1
	3 γ -GTP (ガンマグルタミル トランスペプチター ゼ)	① γ -グルタミル基を他のアミノ酸やペプチドに転移する酵素 ② 腎に最も多く、ついで脾、肝は低い ③ 高値は、肝・胆道疾患に特異 ④ 正常値の例 40単位 (mU/ml) 以下 成人男子 16.5 (0~61.7) 単位 成人女子 10.8 (0~36.8) 単位
血中脂質検査	1 血清総コレステロール	① 細胞膜、細胞内小器官の膜、ミェリン鞘などの構成成分をなす重要な脂質 ② 肝はコレステロール代謝の主要な臓器 ③ 体内の脂質代謝異常の指標として重要 ④ 健常人の空腹時血清脂質濃度 総脂質 500~800mg/dl 総コレステロール 130~250

	<p>2 HDLーコレステロール (高比重リポたん白コレステロール)</p>	<p>① 抹消から肝臓へのコレステロールへの逆転送に重要な役割を果たす。 ② HDLは、動脈硬化性疾患の検査や脂質代謝異常の判断時に活用される。 ③ 高値疾患 100mg/dl 以上 飲酒の影響 大 低値疾患 40mg/dl 以下</p>
	<p>3 トリグリセイド (中性脂肪)</p>	<p>① トリグリセイドは、全身の脂肪組織の主成分として、生体のエネルギー貯蔵にあずかり、必要に応じて組織にエネルギーを供給する。 ② 血中トリグリセイドの増産は、脂肪組織」 ③ からの脂肪酸の放出の増大、肝における合成の亢進等により起こる。 ④ 正常値 早朝空腹時 70~140mg/dl</p>
<p>貧血検査</p>		<p>① 貧血の疑い 成人男子 Hb 13g/dl 成人女子 Hb 12g/dl</p>
<p>血糖検査</p>		<p>① 範囲 60~160mg/dl</p>

